

**臨時作業、10月5日(土) 9時からグリーントリム公園に集合**

アジサイの苗 20 株が土木課から 10/3 に供与されますので、苗が痛まないうちに植えたいと思います。ご協力をお願いします。

**10月の定例作業は10月12日(土) 9時からグリーントリム公園に集合**

繁茂した下草刈りをします。雨天のときは翌週 10/19 (土) に延期。

**平日作業日は、10月22日(火) 9時からグリーントリム公園に集合**

定例作業日に続く。雨天のとき中止。

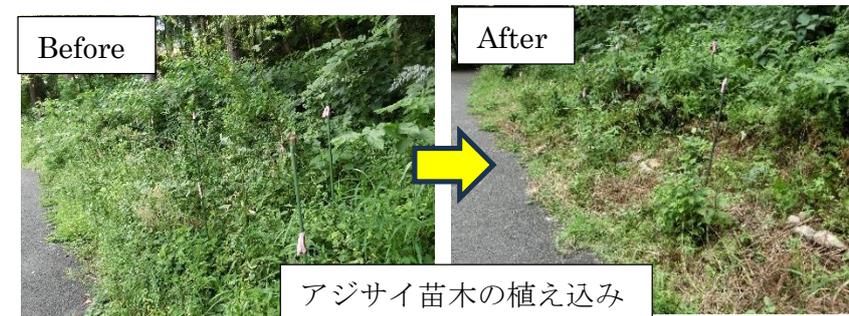
**1. 9月定例作業日は、草刈り・草取りで広場清掃、アジサイ・コキア保護**

9/14(土)は9時で28℃の気温、夏のような日射し。解散時35℃だが、林に入れば日陰、微風は少し涼しい。参加者9名。

里山は草ぼうぼう。全域が整備必要箇所です。その中で、公園利用の多い箇所と、春に植えた苗木・苗の周辺を優先しました。

前者(利用の多い場所)として、入口広場とその花壇、第1広場の芝刈りと広場の落下枝木・落葉の清掃、崖線上の境界の草木の刈り払い、そして、第2広場の落下枝木の撤去・清掃、はむらん駐車場周辺の草刈りなどをしました。

後者(植えた苗木)としては、第2広場のアジサイ周辺の草刈り・草取り、第2広場の先の園路西側のコキア周辺の草取りです。アジサイはかろうじて生き残っていましたが、コキアの下の方は全滅でしたが、上の列は背高の草に覆われていましたが、残っていましたが、生育はよくない。



第2広場の枯れた、サクラやコナラなどの大木が3本伐採撤去されていました。(日野市では強風でイチョウの大木が倒れて行人人が亡くなった事件がありましたが、羽村市ではそのようなことが起きないように、土木課に樹木管理をよろしくお願ひしたい。)

## 2. 9月平日作業日は、草取り、刈り払い、剪定

9/24(火)曇天、9時の気温18℃、12時の気温22℃と昨日の真夏日和から一転、秋めいた気候、だが草木の緑が勝って景色は夏。参加者6名。

作業は、公園利用者の多い入口広場とその周辺会の道具小屋周辺、三角山入口の草取り、刈り払い、生け垣などの剪定をしました。



## 3. 小作四郎さんから作業道具譲り受け

小作四郎さんから所蔵の道具類を里山保存会に譲渡して頂きました。脚立・サンダー(ベルト付き)・高枝切り鋏などのほか、安全ロープ・クライミングハーネス・安全ベルト・ロープなど山仕事の道具をボックス容器ごと頂きました。大切に使用します。感謝。

### 里山で鳴く秋の虫

秋に独特の音を出して鳴く昆虫の総称“鳴く虫”には、**コオロギ**(鳴き声：リーリー、コロコロ)、**マツムシ**(チンチロリン)、**スズムシ**(リリリリ)、**ケラ**(ビービー)、**キリギリス**(ギーッ、ギーッ)、**クツワムシ**(ガチャガチャ)、**ツユムシ**(ピチッピチッピチ)などがあります。いずれもバッタ目コオロギ亜科ですが、泣かない種もあります。鳴き声は同じ科でも種で異なり、上記は一例です。基本、泣くのは雄です。メスを誘っています。

虫の音に浮き沈みする庵かな

高浜虚子

鈴虫の音をくらべむと目をつむる

阿波野青畝

秋の夜にこれらの虫の音を聞くと、季節を感じます。短命ではかない虫の音は心にひびき、安らぎや落ち着きを与えてくれます。この“**虫の音**”文化は、日本では、万葉集にもあり、平安の貴族社会の娯楽でもあったようです。江戸時代には、将軍への献上品であり、やがて庶民にも広がり、鳴く虫を竹かごに入れて売り歩く“虫売り”の職業が流行ったそうです。戦後は廃れて、今はデパートで売っています。鳴く虫の音色を楽しむ“虫聴き”の遊びは、中国などでも行われているようです。



生態は種により様々です。食性は多くが雑食性です。よく発達した後脚で、飛び跳ねて身を守るのが特徴です。前足に耳があります。(バッタの耳は胸にあり)耳の構造は人間の耳に類似しているようです。コオロギやキリギリスの天敵にはカマキリ・ハチ・トカゲ・クモ・鳥・猫・狸、…などがあります。

人間は、コオロギ・バッタ・イナゴ・アリ・ハチ・タガメ・カブトムシ・トンボ…などを昆虫食として食べています。とすれば、人間も天敵か？！